



# DISTRICT 2500 OBIHIRO ROTARY CLUB

No. 2938

## 第3256回例会

平成23年6月22日

2010-11年度 国際ロータリーのテーマ

**BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS**

(地域を育み、大陸をつなぐ)

方針 **友情と信頼**

会長 後藤 裕弘

出席  
報告

6月8日例会

会員総数90名 (内免除会員9名)

欠席者21名 (出免7名)

出席者数 62名

0

メークアップ7名

90(名)

## ■プログラム

(職業奉仕委員会)

「中島 敦作「名人伝」朗読」 佐藤 幸宏 会員



こんにちは。職業奉仕委員長の佐藤です。  
今日の話は中島敦と言う人の「名人伝」という作品を朗読させていただきます。

「本当の名人とはどんなものなのか？」というテーマを、面白い設定で書き上げられたこの作品は、結末の意外性が色々なことを考えさせてくれます。

言ってみれば私たちロータリアンも「サービス」というキーワードを道具にして、その世界の名人を目指す人間の集りと言えるわけで、そこに何かしらの本作品に共通する重要なものが隠れている様な気がします。

一見職業奉仕とは関係ないような内容ですが、職業を極めるという接点を意識して、この「名人伝」をお披露目させていただくことといたしました。

中島敦は太宰治や大岡昇平と同じ1909年生まれで、その才能から将来を嘱望されていましたが、体が弱く33歳という若さでこの世を去りました。ですから、作品も少なく、知名度も薄いので、円熟に至らずに死んだ、二流の作家と思われる節もあるのですが、漢学者一族に育った彼の、中国の故事を題材にした作品には隠れたファンが多いと聞きます。

「弓」という言葉を「サービス」という言葉に変えて、本作品を感じていただければ、職業奉仕委員会のお役目も半ばを過ぎるかと思います。

それでは中島敦作「名人伝」を朗読いたします。

「その昔、中国の、趙の邯鄲に住む紀昌という男が、～(本文略)」

中島敦の「名人伝」如何でしたでしょうか？

皆さん、人それぞれの感想をお持ちのことと思いますが、この面白さは何と言っても結末の思いもよらない意外性だと思うのですが、それでは、一体何が紀昌を変えてしまったのでしょうか？何が弓を忘れさせてしまったのでしょうか？彼を変えた9年間の修業とは一体どのようなものだったのでしょうか？興味はそちらに移ります。

常識的にはたとえ弓を忘れても、物事を成し遂げた名人ならば、自信とか生き生きとした生き方が残るものだと思うのですが、紀昌の最期にはそれが感じられません。山を降りてきた時のまるで木偶のごとき、愚者の如きの容貌は何かに打ちのめされたような印象さえ受けるのです。

日曜テレビ劇場の「ジン」という番組を知っているでしょうか？現代の脳外科医が江戸末期へタイムスリップしてその時代に貢献する話なのです。ちなみにこの番組は次回

で最終回に成りますが～これを見ていて思ったのです。紀昌にタイムスリップが起って未来を見てしまったのではないかと、そう考えてみてはいかがでしょう。

実はあの甘蝇老師はタイムボリスで、紀昌は彼に今の時代に連れて来られた。そこには鉄砲というものがあって、音は大きい弓より遠くのを撃つことができる。正確を期するならスコープというものが付いているし、速さを競うなら機関銃と言う機種もある。更にもっと遠くに飛ばすなら大砲という機械もあるし、ミサイルというものもある。驚きは、アメリカと言う国の一室に入ってスイッチを入れて、場所を指定すれば地球の裏側の国々をテレビというものに写し出せ、狙った人、場所などに向かって焦点を合わせスイッチを押せばあっという間に目的は達せられる。それを見た紀昌は自分の「天下一の弓の名人に成るという志」の意義を失ってしまったのではないのでしょうか。弓も矢も無用の長物となってしまう、終にはその名も使い方も忘れてしまった。そう考えると生気のない名人に合点がいくのです。

職業奉仕の任を一年間拝命してポールハリスやシェルドンなどのロータリーの考えや歴史を少しだけ学びました。1900年初頭のアルカポネの活躍する当時のシカゴを想像すると確かに職業を通して協力し合える仲間と行動を共にすることは必要なことだったし、それを基盤に安定した社会の構築を願ったことは十分理解できます。しかしいつの間にか社会は成熟し、当時ロータリーの夢に描いた社会は現実のものとなっているように思えます。むしろ仲間に頼むよりは、気兼ねしない知らない人に頼んだ方が気を使わなくていいなどとの考え方もあります。それだけ安定した社会に変化してきているともいえると思います。

1900年当初の名人技に匹敵したであろう斬新な考え方や行動が、世の中の変転の中で色あせて行くのもやむを得ないことなのかもしれません。むしろそうならなければならないのかもしれません。ロータリアンの英知を絞って決定した、決議23-34が消えなかったこともその時の流れの一角なのかもしれません。

そんなことを考えると、この話は、時代や環境が進化によって変われば物の価値観は大きく変わってしまうという話だったのかな？…などと考えてしまうのです。

見方をがらりと変えて、我々男の生きざまに焦点を当ててみます。我々は人生の初期に、意中の人を見つけ「射の射」を極めます。授かった子供たちが独り立ちを始めるころ、「不射の射」に目覚め、晩年になったころはその用途も使い方も忘れて朽ち果て行く。正に本作品は男の運命を

言い当てた物語かもしれないとも、思うのであります。

最後は少しくどい話になってしまいましたが、楽しんでいただけましたでしょうか。興味のある方は是非、ご一読ください。長々のご静聴ありがとうございました。

## ■会長報告

後藤 裕弘 会長



こんにちは。今日は夏至にあたり、1年で1番昼の長い日です。午前3時半頃には、もうライト無しで車が走れそうです。

カレンダーを見ますと今日は“先勝”と同時に“不成就日”と記載がありました。先勝は皆様ご存知のとおり、午前は良運ですが午後は良くない日とされております。不成就日とは、結婚、出産、子供の命名、開店、移転等すべて良くない日だそうであります。どちらにしても今日、これからの時間は良くない事が起こらないようにご注意ください。

さて、5月21日から25日迄、ニューオーリンズで開催されたRI国際大会において24日ビル・ゲイツ氏が講演されました。

これまでゲイツ財団はロータリーのポリオ撲滅のために\$35,500万の寄付をされました。ロータリーでは、この大事業を完成させるため更に\$2億の募金活動を展開しており、現在までに\$17,320万の募金が集まっております。このゲイツ氏の講演の一部をご紹介します。

1988年以来、世界でのポリオ感染例が99%以上減少しました。ここまで来られたのはロータリーのおかげです。ポリオ撲滅活動においてロータリーのパートナーとなれた事を、本当に光栄に思います。

さらに、インドでは今年3月までの感染報告が1件だけとなり、限りなくゼロに近づいています。ロータリー無しには、このような進展は不可能でした。

しかし、ポリオ撲滅には、最後の1%の撲滅、これが一番難しいのです。

この会場にいる皆さん、そして全世界のロータリアンの皆さん全員の協力が無ければ、この難関を乗り越えることができません。ポリオ撲滅迄あと少しです。来年の資金として\$4億が不足しています。手を緩める訳にはいきません。

との内容でした。また、同じ国際大会で25日には第2770地区、埼玉県八潮RCの田中作次PGがRI会長エレクトに正式に承認されました。

受諾挨拶の中で「今までの25年間に於いて、私たちは今初めて組織の目標であるポリオの撲滅のゴールが手に届くところ迄辿り着いたのです。ポリオ撲滅の成功は、国際ロータリーの強みを活用する凄い可能性をもたらします。

その強みとは、約200の国と地域に存在する35,000のロータリー・クラブのネットワーク、世界的協力関係を結ぶモデル、資金を調達する能力、公的な擁護活動を提唱するモデル、

資金管理モデル、目標に専心する組織規律などです。これらの強みを寄せ集めることで、私たちの『世界でよいことをする力』を更に高めます」と述べておられます。どうか皆様、これからもポリオプラスにご支援下さって、ロータリーの力でポリオ撲滅宣言をする。そして、皆様自身もその一員である誇りを高く持てるよう、ご協力下さいますようお願い致します、本日の会長報告とさせていただきます。

## ■会務報告

讃岐 武史 幹事

(1)帯広RC、年度末最終例会(夜間例会)開催のご案内

日 時 6月29日(水) 午後6時

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

(2)各ロータリークラブ年度末最終例会(夜間例会)開催のご案内

・帯広北ロータリークラブ

日 時 6月24日(金) 午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

・帯広南ロータリークラブ

日 時 6月27日(月) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

・帯広東ロータリークラブ

日 時 6月28日(火) 午後6時30分

場 所 帯広ワシントンホテル

・帯広西ロータリークラブ

日 時 6月30日(木) 午後6時30分

場 所 北海道ホテル

## ■委員会報告

・出席報告

6月22日の例会 会員総数87名(内免除会員7名) 出席者数48名

メーキャップを含む出席数&出席率 69名 82%

・ニコニコ献金

職業奉仕理事 松島 隆 会員

今回プログラムを担当することになりましたが、ついに種が無くなり、今回委員会一同と話し合い最後ですから職業奉仕の勝手な解釈で朗読に挑戦しました。最後までお聞きください。

佐藤 幸宏 会員

本日卓話を担当させていただきます。

池田 雄一 会員

新聞に記事が掲載されました。

## ■配偶者様お誕生祝い

小林 善之 会員

## ■ご結婚祝い

吉川 昌之 会員・池田 雄一 会員

## ■次週プログラム予定

6月29日(水)「年度末最終夜間例会」(親睦活動委員会)

## ロータリーミニ見聞情報

### 職業奉仕を考える

ロータリアンは、職業奉仕への取り組みの一環として、高い倫理基準の実践を推進してきました。その中で生まれたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの職業宣言」の2つです。職場や私生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

そして「職業宣言」は、ロータリーの綱領に記されている高い道徳的水準をさらに明確に定義する手段とされています。



↑携帯サイトができました。バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日/水曜日 12:30~13:30

例会会場/ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創 立/昭和10年3月15日 ●認証番号/3820

●戦後再開/昭和25年12月19日

事務局/帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発 行/クラブ広報

●委 員 長/倉野 賢

安岡美樹夫・池田 雄一・佐藤 有宏・宮坂 寿文

石原由美子・後藤 利之・高見 英樹・堀江 威光

●ホームページアドレス/http://www.obihiro-rc.jp